

今のあなたはどのパターン？

まとまった、いや、まとまりすぎた雨が降ったため、草が抜きやすくなりました。朝私が立っている横断歩道脇の花壇の草を抜くにはちようどいいと思って、今朝は軍手をもって、やる気満々で出かけました。

予想通り、根から気もちよく抜けます。ストレスフリーです。そのため、生徒たちの波が途切れるたびに草取りをしたくなり、ついつい夢中になってしまいました。われを忘れて、生徒たちが通過していったことに気付かないことが何回ありました。

その時にわかったのですが、草取りに取り組んでいる私の姿を目にした生徒にはいくつかのパターンがありました。

一つ目のパターンは、草取りに夢中になり背を向けている私に気付いてか気付かないでか、そのまま無言で通り過ぎる生徒です。夢中になっている私のじやまにならないように、と気遣ったのか、「相手が気付いていないならあいさつしない」と決め込んでいるのか。その真意はわかりません。

二つ目のパターンは、あいさつしようかどうか迷い、私の前を通り過ぎても、私の方をちらほらと振り返る生徒です。手を止めてふと振り返ると、通過した後も私の方を気にしています。そして、「おはよう」と言いながら手を上げる私に、ほっとしたようにぺこりと頭を下げていきます。かわいらしい姿です。

三つ目のパターンは……想像つきますよね。そうです。背中を向けている私に向かって、「おはようございます」と自分たちから声をかける生徒です。後ろから声をかけられると、うれしいやら恥ずかしいやら……表現しがたい心境になります。しかし、その後に大きな感動がこみ上げてきます。

今のあなたは、どのパターンにあてはまりますか。私に限らず、校内にもこのような状況の時は必ずあります。地域の中には、校内よりもはるかに多くあるはず。そんなとき、あなたはどの行動をとっていますか。

三つ目のパターンの生徒は、三年生に多くいます。声をかけられ振り向くと「おっ、三年の○○君(さん)かあ」と思うことが多くありますからね。さすがだと思えます。これこそが、卒業に一番近い立場にいる生徒の姿と言えます。

中学校は、巣立ちのための力を付けるところ、言い換えれば、大人になるためにステップアップするところです。「北中の生徒はよくあいさつを返してくれる」という評価ではなく、「北中の生徒は自分たちからあいさつをしてくれる」という評価の方が、あいさつの価値としては高いと言えますね。

相手のじやまをしないようにという気遣いも大切ですが、自分からまず声をかけようという積極性は、相手に直接響いて感動を与えられますよ。さあ、今のあなたはどのパターンで、これからどのパターンに成長するかな。

(七月十五日 記)